

釣り好き記者の ちょっと つりみち 釣り道

[鹿児島編]

FFG 調査月報編集部きっての
釣り好き記者が、仕事帰りにちょっと
寄り道して釣りをする新企画です。



本日の釣り道は鹿児島市

鹿児島市での仕事も無事終わり、記者は「いおワールドかごしま水族館」前の遊歩道で改めて景色を眺めてみました。目前に桜島の威容があり、その前には水深数百mにもなる錦江湾の碧い海が広がっています。

この水族館は運河状の水路を渡った埋立地に立地し、目前には桜島への定期船の発着場があります。その裏側は、水路からと港に流入する海流が当るいわゆる潮通しの極めてよい地形。加えて、ちょうど満潮の時間に重なるように北東の向い風が吹き始め海面がほどよく波立っています。水面には潮目が走り、満々と盛り上がりながら生命感をみなぎらせてきました。

図つたかのように、魚を釣るのに最適の状況が生まれ、記者は思わず竿をだしてしまいました。道具はポケットに入るくらいの最小限。エビなどの小生物を模した疑似餌を投げ込むと、ほどなく海底付近で小気味良いアタリがあり、小さなハタが顔を見せてくれました。今度は、少し軽めの疑似餌で水面付近を漂わせます。するとカワイイアジが遊んでくれました。桜島と錦江湾の素晴らしい絶景は、多様な生物を育んでくれています。

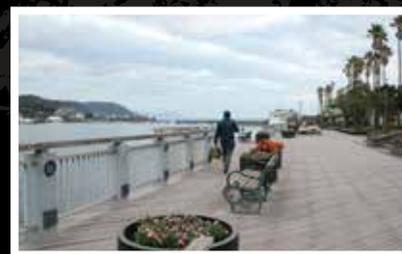
こんな寄り道もいいな、とちょっといい気分になり、記者は帰りの新幹線に乗り込みました。



かごしま水族館の前で釣りをする。この日は夕方から日が暮れるまで釣りを楽しんだ



外出時、持ち歩いている釣り道具。折り畳み釣り竿でコンパクトに収納できる



かごしま水族館前の遊歩道で釣りのポイントを探す